

# ふりかえりプリント 10月第3週④

答えのらんをうしろからおってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

## A 数と計算

① 計算をしましょう。

$$64 \div 8 = \boxed{\phantom{00}} \quad 35 \div 7 = \boxed{\phantom{00}}$$

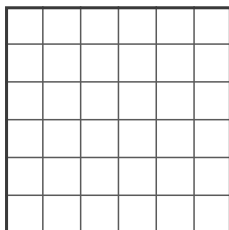
② 計算をしましょう。

$$5.7 + 1.6 = \boxed{\phantom{00.00}}$$

$$8.2 - 4.7 = \boxed{\phantom{00.00}}$$

③ 筆算でしましょう。

$$2.7 \times 3.4 \text{ 答え } \boxed{\phantom{00.00}}$$



④ 6mは4mの何倍ですか。分数で答えましょう。

答え

## B 図形・量と測定

① 半径が6cmの円の直径は何cmですか。

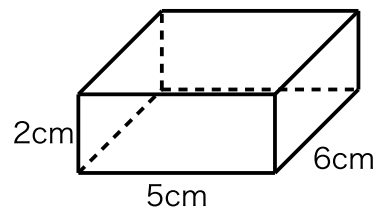
答え

② 角アの大きさは何度ですか。



答え

③ この直方体の体積は何cm³ですか。



答え

④ 三角形の3つの角の大きさの和は何度ですか。

答え

## C 変わり方と割合

① 21cmは3cmの何倍ですか。

答え

② 正方形の1辺の長さを1cmずつ長くしていきます。1辺の長さが8cmのとき、まわりの長さは何cmですか。

| 1辺の長さ (cm)  | 1 | 2 | 3  | 4  |
|-------------|---|---|----|----|
| まわりの長さ (cm) | 4 | 8 | 12 | 16 |

答え

③ ともなって変わる2つの量で、一方が2倍、3倍になると、もう一方も2倍、3倍になる関係を何といいますか。

答え

④ 12mは8mの何倍ですか。

答え

⑤ テープが8mあります。リボンは、そのテープの1.5倍の長さです。リボンは何mですか。

答え

こたえ (おもて)

A

- ①  $64 \div 8 = 8$
- $35 \div 7 = 5$
- ②  $5.7 + 1.6 = 7.3$
- $8.2 - 4.7 = 3.5$
- ③ 9.18
- ④  $\frac{3}{2}$  倍

B

- ① 12cm
- ② 45度
- ③ 60cm³
- ④ 180度

C

- ① 7倍
- ② 32cm
- ③ 比例
- ④ 1.5倍
- ⑤ 12m

まちがえた問題は消さずに、赤で書きなおしましょう。

5年 10月3週 (4) |  
①=3年 ②=4年 ③  
から=5年  
(Cは⑤まで)

5-10-3-4 v4



まちがいを見つけたら教えてください

# 時計の針は、なぜ右回りなのか

名前

音読サイン

どの時計も、針は右回りに進みます。左回りでも時こくは表せるはずなのに、世界中でほとんど同じ向きにそろっています。

機械の時計より前、人びとは日時計で時こくを知りました。地面に立てた棒のかげが、太陽の動きにつれて向きを変えます。北半球では、かげは朝に西をさし、昼に北を通り、夕方には東へ回ります。この動きを上から見ると、右回りになります。

はじめて機械の時計が作られたのは、北半球の国ぐにでした。作った人たちは、みんなが見慣れている日時計と同じ向きに針を回しました。読み方を新しく覚え直さなくてよいからです。文字ばんの数字の並びも、かげが指した向きをそのままなぞったものです。

南半球では、かげは反対の向きに回ります。もし時計が先に南半球で生まれていたら、わたしたちは左回りの文字ばんを当たり前だと思っていたかもしれません。向きそのものに、正しいも正しくないもありません。

当たり前に見える決まりの多くは、そうでなければならぬ理由があってできたものではありません。はじめに作った人がいた場所の事情を、そのまま引きずっているだけのこともあるのです。

(1) 「引きずって」の意味に合うもの一つを選び、記号に○をつけましょう。

ア 力ずくで止めて  
イ 二つに分けて

ウ あとまでそのまま残して  
エ 新しく作りかえて

(2) 時計の針が右回りになったのは、なぜですか。一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア 右手で回しやすいから  
イ 左回りだとこわれやすいから

ウ 北半球の日時計のかげが右回りに動くから  
エ 世界で話し合って決めたから

(3) 機械の時計より前に、時こくを知るために使われた道具は何ですか。文章から三字で書きぬきましょう。

(4) 筆者は、当たり前に見える決まりについてどのように述べていますか。文章の言葉を使って書きましょう。

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

書くときのポイント

「～こともある。」でおわらせる。

「事情」という言葉を使う。

こたえ (うら)

問1 ウ

問2 ウ

問3 日時計

問4 (例) そうでなければならぬ理由があってできたのではなく、はじめに作った人がいた場所の事情を引きずっていることもある。

〈○のつけ方〉

問1～問3は、答えとびつたり同じなら○。

問4は〈はじめに作った人の場所の事情〉が書けていれば○。

5-10-3-4 v4

5年 説明文